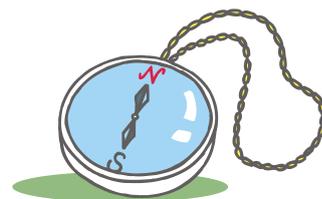


羅 針 盤

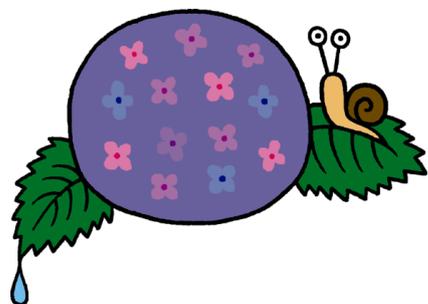


第 11 号 令和4年（2022年）6月20日（月）

◆ 志（こころざし）は高く 足は地面に

先月の中旬に行われた1学期の中間テストでは、皆さん一人ひとりにとって望むべき結果を得ることができていましたか。あるいは、春季総合体育大会において、部活動の試合結果についても、個人として、あるいは、チームとして納得のいく結果を得ることができていたでしょうか。思いのほか、芳（かんば）しくない結果であったとき、誰もが「あの時にこうしていれば」、「もっと勉強（または、練習）をしていれば」と考えてしまうことがあったのではないのでしょうか。勝つことも大事なことです、負けたことから得るべきものがたくさんあったはず。その得たことを次へと繋げていくことが、とても大切なことです。学習活動においても、部活動においても、自ら取り組む姿勢を持って、努力することを怠らず、積み重ねることの大切さをなくしては、結果は伴わないものです。将来、自らが進みゆく道で「プロフェッショナル（道を極め、誰からも一流であると認められること）」を目ざすならば、「どんなに努力しても勝てなくて負けることがある。（あるいは、成功することなく失敗することがある。）それでも、何度負けても（あるいは、何度失敗しても）それを乗り越える努力が必要である。」といった言葉を、たくさんの「プロフェッショナル」と呼ばれる人たちが残しています。どのようにして、自分の立てた目標や夢を100%に近づけていけるのか。そのためにこそ積み重ねていくのが「努力」というものです。これまでも、志（こころざし）を高く持つことの意義について、機会を見つけて

は、何度もお話をしてきました。そして、その実現のためには、腰を据えてゆるぎない足元をつくりあげていくこと、つまり、基礎・基本となることを怠らずに、積み重ねて、しっかりと土台を築きあげていくことがとても大切なことだと思います。「志（こころざし）は高く」、そして、「足は地面に」といった心がけを忘れずに、来週から始まる期末テストにしっかりと臨んでもらいたいと思います。



◆ 「今日の一針、明日の十針」

「今日（きょう）の一針（ひとはり）、明日（あす）の十針（とはり）」という言葉、皆さんは知っているでしょうか。処置が遅れば遅れるほど負担が重くなることのととえて、今日であれば一針（ひとはり）縫うことで繕（つくろ）えるほころびも、明日になればほころびが広がってしまって十針（とはり）も縫わなければならないということを意味していて、「すぐにしなければならないことを先延ばしにしてしまうことを戒める言葉」です。現代社会は、仕事に追われ、時間に追われてといった場面が多く、生徒の君たちの場合は、宿題に追われ、部活動に追われ、塾に追われ、習い事に追われといったことではないのでしょうか、余裕のない日々を過ごしているなあと感じずにはられません。心を落ち着かせ、着実に行動するためには、まずは目の前の課題をやりきることが何よりも肝要な方法であるのは、誰もが理解できることのはずです。後回しにしたい気持ちを抑えて、返って時間の無駄使いをせぬためにも、「今日の一針」を優先して実行に移してみてもどうでしょうか。